

5604-0121 パタークラブベンディングマシン

取扱説明書

多様なヘッドに対応可能なパタークラブ・ベンディングマシン

スチール・ベンドシャフトを備えたパタークラブのベンド(曲がり)調整、またはヘッドのネックを調整することで、ロフト・ライ等のフィッティングを可能にする機器です。樹脂(背面)、ラバー(底面)、アルミ(上面)と、3種の素材を適材適所、各ホルダーに採用することで、多様なパターヘッド形状に対応します。

ベンド調整には、別売りのベンディング・チューブを使用することで、曲げる際にシャフトにかかる負荷を分散し、チューブ端部内側のテーパ構造で効率的なベンディング角度調整が可能です。

ヘッドのネック調整には、別売りのベンディングバーを使用し、2種類のネック保持用クランプをヘッドに応じて使い分け、ロフト・ライを調整します。

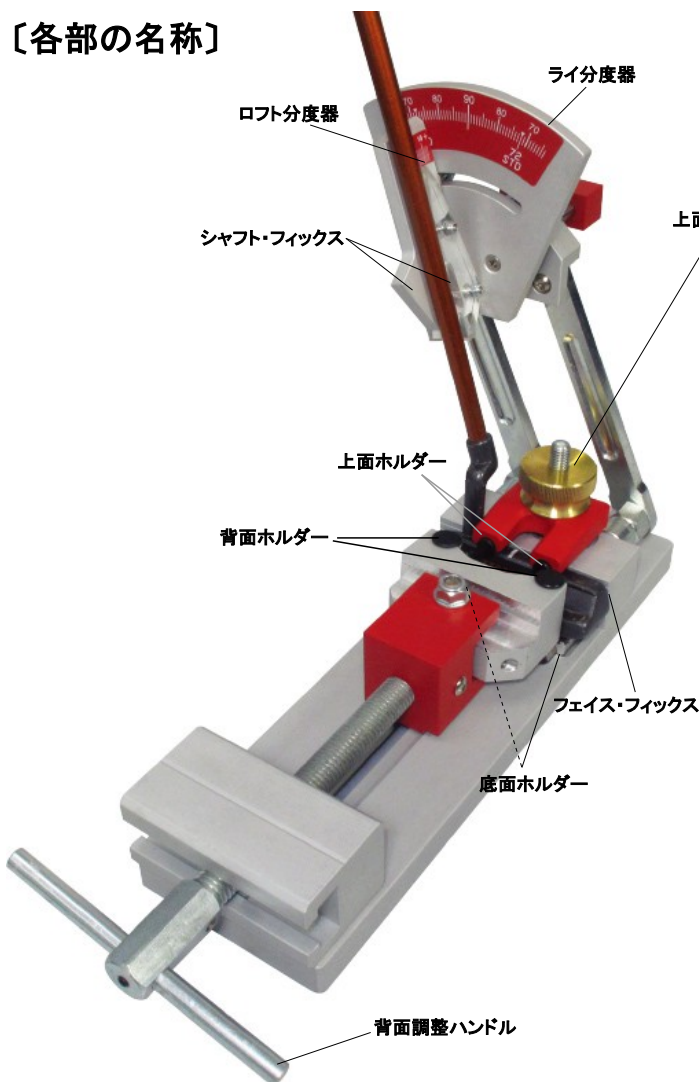
なお、本品の計測機能は、フェイス面を基準とした調整前後の差異を測定するためのものであり、クラブとしてのロフト、ライを計測するものではありませんので、ご注意下さい。

※アイアン向けのベンディング・バー等でパターのネックに力を加えると、破損に繋がりますので、お止め下さい。

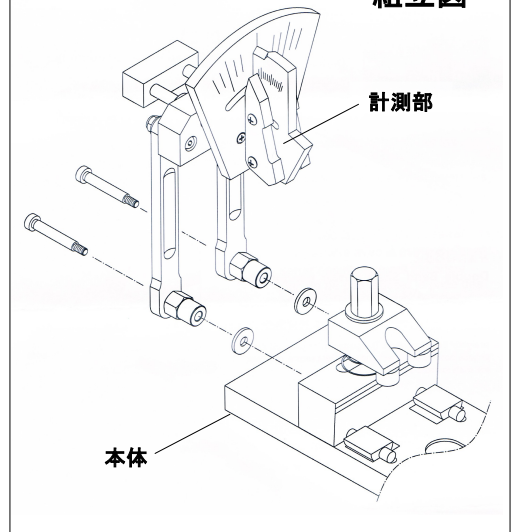
〔組立〕

■左の組立図のように、本体と計測部の間にスペーサーを入れ、固定用の六角ネジを六角レンチで締め付けて組み立てます。固定用六角ネジのシャフト部には、潤滑剤が塗布されていますので、ご注意下さい。また、ネジを締め付けすぎると、計測部の動きが悪くなりますので、注意して下さい。

〔各部の名称〕



組立図



〔梱包内容〕

【本体、組込済部品】

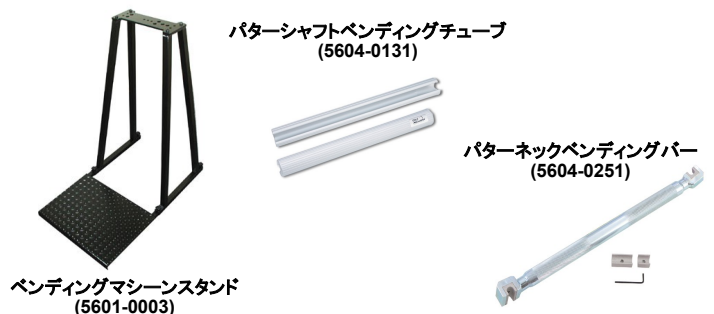
本体
下面保持パーツ(ラバー)*2
背面保持パーツ(プラスチック)*2

【同梱部品等】

計測部
計測部固定用六角ネジ*2
スペーサー*2
六角レンチ
固定用ボルト*4
固定用ナット*4
固定用ワッシャー*4



別売関連用品のご案内



〔設置〕

- 本品は必ず、専用設計のベンディングマシンスタンド(5601-0003)や、固定された作業台に設置した上でご使用下さい。不安定な場所での使用は、調整に支障を来たします。
- ベンディングマシンスタンド(5601-0003)への固定には、付属のボルト・ナット・ワッシャーを使用し、スタンドに付属の説明書をご覧ください。
- 作業台等への固定でも、本品に備えられた固定用穴を利用しますが、機器の動作に支障が出ないように、ご注意ください。作業台の天板寸法に応じ、適切な固定ボルト等をご使用下さい。



ベンディングマシンスタンド
(5601-0003)

〔ロフト・ライ調整方法〕

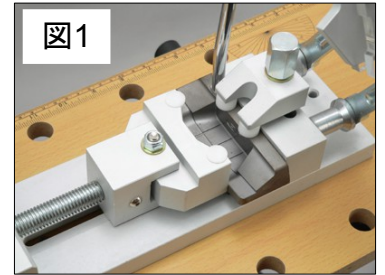
※下記、説明中の画像は、カラー等が一部異なりますが、基本的な使用方法は同じです。

〔クラブの固定〕

- (1) ヘッドの傷付きを防ぎたい場合は、各接触面に保護のためのテープを貼るか、ヘッドを厚手のビニール等に包んでから、作業して下さい。ただし、テープやビニールによる遊びが大きくなると、調整時のロフトやライの誤差に繋がりますので、計測時は、ご注意ください。
- (2) パターのソール面を底面ホルダーに載せ、フェイスをフェイス・フィックスに当てます。背面調整ハンドルを回し、背面ホルダーをヘッドに当てていき、遊びやガタ付きが無くなる所で止めます。ヘッドが傷付きますので、締付け過ぎにご注意下さい。
- (3) ヘッド上面を水平に抑えるよう、上面調整ダイヤルを回し、上面ホルダーを押し下げていき、遊びやガタ付きが完全に無くなる所で止めます。

〔調整量の確認〕

- (1) 現状のライ確認のため、図2のようにシャフトをシャフト・フィックスにあてがい、ライ分度器の数値を読み取ります。
- (2) 次に現状のロフト確認のため、図3のようにシャフト・フィックスをシャフトのフェイス面方向からあてがい、ロフト分度器の数値を読み取ります。
- (3) これらの数値を調整前の数値として、そこから何度調整するかを決定します。



〔バンドシャフトの調整〕

- ※以降の説明図中では、別売の『パターシャフト ベンディングチューブ』(5604-0131)を使用しています。シャフトに力を加える際の変形を防ぐためにも、本品との同時使用を推奨致します。ご使用の際は、端部の内部が広がっているフレア形状の部分、ヘッド側のシャフトがバンドしている部分にあてて使用します。
- (4) ライは、図5のように、パターのヒール→トゥ方向に平行に力を加えることで調整します。この時、シャフトのバンドの一箇所を曲げると、シャフトの折れや凹みに繋がりますので、バンド部分全体に力を分散させて下さい。
 - (5) ロフトは、図6のように、パターのフェイス→バックフェイス方向に平行に力を加えることで調整します。
 - (6) シャフトのバンド形状によっては、ライとロフトが同時に変わってしまう場合もありますので、こまめにロフトとライを確認しながら、必要な調整角となるまで、確認と調整を繰り返して下さい。

〔ネックの調整〕

- (7) ヘッドのネックを調整する前に、調整が可能なヘッド素材かを確認して下さい。一般的に、SUS303/304等のステンレスや軟鉄は、調整可能な場合が多いですが、メッキ処理されていると、表面にヒビ等が発生する場合がありますので、詳細は、メーカーにお問い合わせ下さい。
- (8) 調整は、図7のように、ベンディングバーの2種のクランプのうち、ネックの長さに近い側を使用して下さい。基本的な調整方式は、シャフトの場合と同様ですので、対応する方向にクランプして、力を加えて調整して下さい。別売のプラスチック・クランプ・ジョー(5604-0253)をご利用頂くと、通常のアلمクランプよりも、ヘッドを傷付けにくくなります。但し、調整自体はアルミ製クランプの方が容易です。

